

141	自来也小町	蛙一匹百両の絵が消えた……。あれよあれよと値の上がる吉祥画を専門に狙う怪盗・自来也小町。珍事件に蠢く影は？ 辰親分の胸のすく名推理！ 妙趣あふれる名品七篇。		文春文庫
142	凧をみる武士	大名の下屋敷から空高く揚がる大凧。その三枚の凧にはなぜか十両の小判が結びつけられていた……。江戸情緒満載の人気シリーズ		文春文庫
143	朱房の鷹	将軍様の鷹が殺された。ご公儀の威光を笠にきて威張る鷹匠に対する庶民の恨みか？ 辰親分、円熟の十手さばき。表題作など		文春文庫
144	鬼女の鱗	宝引の辰は千両町ではちょっといい顔の岡っ引。色が黒く、目は大きく、よくない人相の男だが、十手さばきは真面目そのもの。まず手始めは千両小町と謳われた、お姚殺しの一件だ。		文春文庫